

長万部の

教育

コーナー

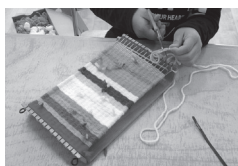


今、学校では

冬！喜びあふれて！

長万部マリア幼稚園

今年は早々と雪が降り、園の最大行事でもあるクリスマスをお祝いすることができました。教育部のお兄さん・お姉さんたちを中心に待降節（イエス・キリストの降誕を待ち望む期間）にはみんなで決めたローソクのお約束を心にとめて過ごし、守れたら、一人一人が心のプレゼントをささげる日々でした。クリスマス会前日には、年長児のキャンドルサービスに始まる祈りの集いを行い、みんなで喜びを分かち合いました。そして、冬になると始まるのが年長



児の編み物作業。毎日、コッソツと毛糸を紡いで編んだポシェットは、世界で一つだけのオリジナルな作品。完成の喜びはひとしおです。そんな素敵な年長児の青バッチさんとの園生活も残り少なくなりました。小さいお友だちにはたくさん素敵な姿を感じとってもらいたいですね。



「有終の美を」

静狩小学校

コロナ禍の生活も丸二年と長期化しており、新たな生活様式である「手洗い・手指消毒の徹底」「マスクの着用」「三密を避ける」などかなり定着しています。昨年末から新たな変異株である「オミクロン株」の出現、そして感染拡大により改めて基本的感染対策の徹底が必要となってきました。

そのような中、静狩小学校では臨時休校など不測の事態に備え、夏休みに引き続き、冬休みも学習会をリモートで行いました。昨年度（令和二年度）から行っていますので、子どもたちは基本操作には慣れています。が、あまり使わない操作の仕方を確認する上でも定期的にリモートでの学習会を行うことは有効です。今回の学習会でも、子どもたちは特別に用意した問題に取り組みながら、操

作の仕方もしっかりと確認していただきました。限られた時間ではありましたが、目的を果たすことができたと考えています。



冬休みが終わり、子どもたちの元気な声が響き、小さいながらも学校に活気が戻ってきました。そして、いよいよ開校までのカウントダウンも始まりました。まずは、二月五日に行われる「閉校式典」に向けて準備を急ピッチで進めています。子どもたちも

式典での児童発表に向けて練習に励んでいます。式典後には、最後の卒業式に向けての準備や取組が中心となります。卒業する子どもたちにとっても、送り出す側にとっても思い出に残るような素敵な卒業式になるよう学校全体で準備を進めていくことになります。





11月 吹奏楽部定期演奏会



12月 2学年見学旅行



12月 体育大会



12月 職業説明会

小学校間交流授業



長万部小学校と静狩小学校では、主に高学年で教育活動の交流を行っています。新型コロナウイルス感染症のため、これまで合同で行ってきた全国学力・学習状況調査や標準学力テストについては各学校単位での取組となりましたが、第6学年の修学旅行、第5学年の宿泊研修は本年度も合同で行うことができました。今回は、6年生で行われた長万部小と静狩小の交流授業の様子についてご紹介いたします。

11月10日の道徳科の授業では、認知症サポート養成講座を行いました。認知症という病気を正しく理解して、認知症の方を温かく見守る視点や態度を養うことをねらいに実施しました。子どもたちは認知症の方への接し方についてロールプレイをしながら最後は認定証をいただきました。

12月16日の保健体育科の授業では、薬物乱用防止教室を行いました。これは禁止薬物が健康を損なう原因となり、副作用や依存症、危険性があることを理解するとともに、薬物乱用が法律で厳しく規制されていることを理解し、身近な問題としてとらえることをねらいに実施しました。子どもたちは特にお酒とたばこの害について正しい知識を習得することができました。

12月21日の社会科の授業では、租税教室を行いました。これは「社会共通の会費」である税金についての理解を深めることをねらいに実施しました。子どもたちは税金について説明を聞き、100万円、1億円のサンプルにふれ、大きさや規模をとらえたり、DVD視聴や〇×クイズを行ったりするなど、税金についてこれまでよりも理解を深めることができました。

令和3年度で静狩小学校が閉校し、令和4年度から小学校は長万部小学校1校となります。これまで培ってきた交流の経験を今後も大切にしながら教育活動を展開して参ります。



認知症サポート講座



薬物乱用防止教室



租税教室